

木簡データベースの画像の拡充

公開から六年余りになる奈良文化財研究所の木簡データベースは、当学会の協力による『木簡研究』誌掲載の全国出土の木簡のデータの掲載によって、文字通り日本木簡の総合的なデータベースとして広く利用されている（年四回更新。現在四〇二六二点の木簡を収録）。

このデータベースは木簡の基礎的な情報についてのテキストデータを主体としつつ、木簡の全体画像とのリンクもはかってきた。これまで画像とのリンクは奈良（国立）文化財研究所が調査した木簡のうち、長屋王家木簡・二条大路木簡の優品から順に進めてきたが、このたび『平城宮木簡』一―六所収の木簡について、画像の公開を開始した。これにより、現在入手困難なものもあるこれらの報告書所収の木簡について、手軽に画像を閲覧できるようになった。

奈良文化財研究所では、このデータベースとは別に木簡画像データベース「木簡字典」を公開した（145頁参照）が、データの拡充にはなお時日を要することが予想されるので、従来の木簡データベースにおける木簡全体画像とのリンクへの期待は大きい。